

**平成26年度
日本糖尿病財団研究助成金交付対象者リスト**

氏 名	所属機関・職名	研究課題
菅波 孝祥	東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科 臓器代謝ネットワーク講座 特任教授	異所性脂肪の制御による新たな糖尿病治療戦略の開発
黒田 真也	東京大学大学院理学系研究科 生物科学専攻 教授	トランスオミクス解析による2型糖尿病特異的ネットワークの同定
笹岡 利安	富山大学 大学院 医学薬学研究部 病態制御薬理学 教授	血小板由来増殖因子(PDGF)、によるペリサイトの新生血管進展制御を介した脂肪組織肥大化の機序の解明
岩田 実	富山大学・大学院 医学薬学研究部 客員准教授	遺伝子解析を活用した2型糖尿病の発症予測法及び個別化医療開発のための臨床的検討
江口 潤	岡山大学病院 腎臓・糖尿病・内分泌内科 助教	メタボリック症候群における肥満サルコペニアの治療標的の探索
西村 智	自治医科大学 分子病態研究部 教授	脂肪組織免疫細胞賦活化制御による抗糖尿病・肥満治療
山縣 和也	熊本大学大学院 生命科学研究部 病態生化学分野 教授	SIRT7による新たな褐色脂肪細胞機能制御機構の解明
脇野 修	慶應義塾大学 医学部 腎臓内分泌代謝内科 専任講師	糖尿病性腎症早期の近位尿細管Sirt1低下に対するミトコンドリアリボソーム(Mitoribosome)の数的・機能的な代償機構の解明-近位尿細管及びポドサイト特異的Sirt1遺伝子改変マウスを使用した解析-
今泉 美佳	杏林大学 医学部 教授	インスリン開口放出におけるアクティブゾーン構成蛋白質の役割
大野 晴也	広島大学 大学院 医歯薬学保健学研究院 分子内科学 特任助教	EHMT1変異に伴う褐色脂肪組織の機能変化と肥満・糖尿病発症への影響の解明